

一般質問

掲載の6項目を含め12人の議員が47項目の質問を行い町長の考えをたどしました。

地震対策

学校の耐震補強工事の実施を

順次行う予定

質問

本町では全学校で耐震診断は終わっているが、いまだ補強工事は実施されていない。早く工事を実施すべきだと考えるがどうか。

答弁

現在、改修する必要がある校舎は十四棟残っており、順次耐震補強を行う予定である。



補強が急がれます

避難ビルなどを指定しては

先進地を参考に検討

質問

避難対象地域の中に避難できるビルを指定してはどうか。

また、ボランティアで防災指導員を募集して、防災対策を強化し、防災講演などを開催して、町民の意識の高揚を図ってはどうか。

答弁

近くの公共施設で二階以上部分を避難場所として活用し、避難ビルの指定は、今後検討する。

防災指導員については、自主防災組織のリーダーを養成する。

防災講演会は、小学校区単位の防災訓練や自治会連合会の講演会などの機会を利用し開催する。



穏やかであってほしい

津波対策



坂駅にはあるのに

バリアフリー化

海田市駅にエレベーター設置を

町独自で検討

質問 JRとの交渉はどのようになっているのか。JRが実施しない場合は、町独自でできないか。

答弁 JRとしては連続立体交差事業との関係で二重投資はできないとの見解である。町独自でエレベーター設置の方向で検討する。

町内美化

ポイ捨て防止条例を

制定する準備をする

質問 空き缶タバコの吸い殻のポイ捨てや犬・猫の糞の放置など目にあまるものがある。清掃ボランティアなどで全町的にこれらを禁止するためにポイ捨て防止条例を制定してはどうか。啓発に努めている。

答弁 自治会や公衆衛生推進協議会、町職員による休日清掃ボランティアなどで全町的に町内美化や環境衛生思想の普及、啓発に努めている。

しかし、ポイ捨てや犬、猫の糞尿の放置はなくなり、多くの住民が迷惑している。

本町に合った条例の準備をする。



クリーンキャンペーンです

AEDの設置を

設置を含め検討していく

【質問】

心臓突然死の中で最も多いのが心室細動で、これE.D（自動体外除細動器）で電気ショックを与えるしかない。処置が一分遅れるごとに生存率が10%ずつ下がり、一刻も早い電気ショックが必要である。そのため厚生労働省は昨年七月から、一般の人の使用も認めている。

【答弁】

プールでの事故は、生命にかかわる危険性が高いものである。現場での素早い処置が救命率の向上につながるため、福祉センターへの設置を含め、全庁的な問題として情報収集などに努めるとともに検討していく。



紙面を有効に

財 源 確 保

有料広告の導入を

検討し取り入れていく

【質問】

厳しい財政状況の改善のため、行政経営の発想の転換を図り、本年度より「広報かいた」に有料広告を募集しているが、現状はどうか。

【答弁】

六月号から九月号までの四回の「広報かいた」の発行で十二件の広告を掲載し、実質的な町の収入は二十七万六千五百円である。

また今後、町発行の刊行物、町民窓口の封筒、水道メーター検針票などの、広報媒体についても、積極的に検討すべきではないか。

今後、町の刊行物や封筒などへの広告掲載のほか、先進地ではホームページへのバナー広告や公用車のホイールカバーに広告を掲載されている事例もある。広告の需要を見極めながら、これらの媒体についても積極的に検討し、取り入れていく。